

外来診療予定表(6月)

★: 女性の医師 赤字: 変更となった診療

診療科	月	火	水	木	金	土	
総合診療部 (外科・内科)	午前	★塩田美桜(外科) 第1.4.5 塩田総院長(外科) 第2	大野	大野	鈴木副院長(外科)	鈴木副院長 (炎症性腸疾患専門外来)	守(禁煙外来) ※午後休診※
	午後	小坂 (下肢静脈腫専門外来) 第2.4	—	守(外科)	—	—	—
	午前	—	—	★渡部(内科) 受付15:30まで	鶴岡(内科)	★大友(内科)	木下 第1 金谷 第3 ※午後休診※
	午後	武田(内科)	★渡部(内科) 受付15:30まで	—	—	—	—
	午前	大木 (肝臓内科・内科)	—	—	—	—	大木 (肝臓内科・内科) 第2.4 ※午後休診※
	午後	—	千葉大(内科)	由井(糖尿病外来) 初診受付16:00まで	—	大木 (肝臓内科・内科) 第2.3.4	—
内視鏡 (胃・大腸)	午前	★塩田美桜(胃) 第1.4.5 塩田総院長(胃) 第2	—	鈴木副院長(胃)	大野(胃)	大木(胃) 第2.3.4	—
	午後	★塩田美桜(大腸) 第1.4.5 塩田総院長(大腸) 第2	千葉大(大腸)	鈴木副院長(大腸)	大野(大腸)	—	—
◎内視鏡検査は事前に診察が必要となります。検査の予約のみをお取りすることはできませんので、予めご了承ください。							
脳神経外科	午前	西澤	—	★金岡	★金岡 第1.3 青柳 第2.4	青柳	團
整形外科	午前	塩田院長	塩田院長 第2	塩田院長	塩田院長	—	塩田院長 第2.4 ※午後休診※
	午後	—	—	—	塩田院長	—	—
	午前	—	石井(予約制)	—	—	伊藤	石井(予約制) 第1.3 ※午後休診※
	午後	—	—	石井(予約制) 第1.2.3	石井(予約制)	—	—
	午後	—	加藤	—	—	金城	金子 第2 山田 第3 肩外来 第4 ※午後休診※
循環器内科	午前	亀田総合病院 (交代制)	—	中津	亀田総合病院 (交代制)	大橋	—
	午後	—	—	—	—	大橋 第1.3.4	—
婦人科	午前	遠藤名誉院長	遠藤名誉院長	—	遠藤名誉院長 第2.4	★山中	遠藤名誉院長
	午後	—	—	—	—	—	—
サバ・ナイフ 外来	午前	大木	—	—	宇野	—	大木 第2.4
	午後	—	—	—	—	大木 第2.3.4	—
脳神経内科	午前	—	片多(予約制)	平田	—	—	—
耳鼻咽喉科	午前	小谷 初診受付16:00まで	—	—	★スミス 第1.3	河合 初診受付11:00まで	—
	午後	—	鈴木	—	★スミス 第3	—	—
泌尿器科	午前	—	—	—	★谷内	—	★井上 第2 勝 第3
	午後	—	—	—	—	—	—

◎診療予定は変更となる場合があります。院内『お知らせコーナー』や『ホームページ』または、電話にてご確認ください。
 ◎当日のご予約はお取りすることができません。必ず前日までにお取りください。◎当日、急遽休診になる場合がありますので、ご了承ください。
 ◎保険証は毎月確認させていただきますのでお持ちください。また、お薬手帳もございましたら必ずお持ちください。
 ◎外来受診に関する詳しい案内は『ホームページ』よりご確認ください。

受付時間:(月~金)8:30~11:30/13:30~16:30 (土)8:30~11:30
 予約専用ダイヤル:0475-35-0002 (月~金)8:30~17:00
 ※お電話をおかけの際、診察券をお持ちの方はお手元にご用意ください。 ※当日予約なしで受診希望の際は電話にてご確認ください。

塩田記念病院だより

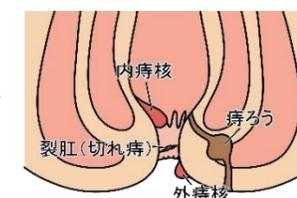
Vol.143 2025年6月号

病気の豆知識 「もしかして痔かも？」～早めの受診で快適な毎日を～

「トイレで出血があった」「お尻がムズムズする」「座ると違和感がある」—こんな症状に心当たりはありませんか？それ、実は「痔」のサインかもしれません。

痔とは、肛門まわりの血流障害や炎症などによって起こる病気の総称で、大きく分けて「いぼ痔(痔核)」「切れ痔(裂肛)」「あな痔(痔ろう)」の3種類があります。特にいぼ痔は日本人の3人に1人が経験するほど身近な病気です。

痔の原因は、長時間の座り仕事、便秘や下痢の繰り返し、排便時のいきみすぎ、冷えなどの生活習慣と密接に関係しています。症状が軽いうちは市販薬で一時的に楽になることもありますが、根本的な解決には医療機関での正しい診断と治療が必要です。



外科 医師 守 正浩

「恥ずかしい」と思って受診をためらう方も多いですが、最近は女性医師による診療や、プライバシーに配慮した診療体制も整っています。治療は、生活指導や外用薬による保存療法が中心で、進行した場合でも当院で手術加療をおこなうことができますので、安心して相談をいただければと思います。お尻の違和感はいぼ痔、肛門科へご相談ください。早めのケアが、毎日の快適さに繋がります。

INFORMATION

お知らせ

■特定健康診断の予約受付中

特定健康診断の予約受付をしております。ご希望の方は下記内容をご確認ください。

実施期間:~12月25日(木)まで

実施曜日:月曜日・火曜日・木曜日・金曜日

※時間は予約時にお問い合わせください。

受付またはお電話(予約センター)にてご予約をお願い致します。

予約センター:0475-35-0002 (月曜日~金曜日)8:30~17:00

☆お手元に診察券・市町村からの案内をご用意の上、お電話ください。



※当院では特定健康診断を完全予約制で行っております。

※追加検査のご希望はご予約時にお申し出ください。当日の追加はできません。ご了承ください。

※当院は眼底検査対象外施設です。眼底検査ご希望の場合は、実施施設で予約下さい。



TOPIC ~マッサージとリハビリテーションの違い~

マッサージは「あん摩マッサージ指圧師」の国家資格を持った方が行える施術で、主に疲労回復やリラクゼーションが目的です。東洋医学が主体であり古代の中国に発生した医学理論・技術を源流とするもので、気、陰陽、五行、天人、合一、心身、一如などの哲学・思想を背景としています。治療法には、鍼(物理療法)、灸(温熱療法)、湯液(薬物療法)、按蹻(いわゆるマッサージ)、気功・導引(運動療法)、薬膳(食事療法)など、様々なものが含まれます。「あん摩マッサージ指圧師」は東洋医学を基にマッサージについての知識や技術を習得しております。



一方で、リハビリテーションは「理学療法士」「作業療法士」「言語聴覚士」(以下、セラピスト)の国家資格を持った方が行います。西洋医学を主体としており、古代ギリシャや古代ローマで発達した対症療法を中心とした医学です。一般的な病院やクリニックにて、先進技術・機器を用いた診察や治療を行っているのが西洋医学にあたります。リハビリテーションの内容としては怪我や病気で失われた機能の回復を目的に筋力トレーニングや姿勢の矯正、日常生活動作訓練(トイレ動作や歩行など)、飲み込みの練習など多岐にわたってアプローチします。一部マッサージを取り入れることも稀にありますが、基本的には動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を一緒に行ってもらいます。



リハビリテーション科

当院のリハビリテーション科は理学療法士12名、作業療法士3名、助手1名の体制で入院中の患者さんや、外来の患者さんにリハビリテーションを提供しております(言語聴覚士0名、募集中)。この地域において良質なリハビリテーションを提供できるよう日々努力していきたいと思っております。

INFORMATION

お知らせ

■配茶サービス廃止のお知らせ

当院では、入院患者さんの食事時にお茶を提供していましたが、**2025年7月1日より、廃止**させていただきますことになりました。

入院の際は水やお茶などを各自でご準備いただくか、病棟の自動販売機または売店をご利用下さい。

なお、病衣の入院セット(CSセット)をご利用の患者さんは、水または麦茶のペットボトル(500ml)が1日1本ついてきます。また、有料の飲料水プランもご利用いただけます。詳しくは総合受付、または病棟にお問い合わせください。



栄養士の独り言

「腎臓病食、慢性腎臓病の食事療法について」

紫陽花に雨粒がきらりと光る季節となりました。5cmほどの挿し木から育った我が家の真っ白な額紫陽花、今年も楽しませてもらえそうです。皆様いかがお過ごしでしょうか。

病院食をテーマにお話している独り言ですが、今回は腎臓病食、慢性腎臓病(CKD)のお食事療法についてお話しします。

まずは慢性腎臓病について少しご説明します。慢性腎臓病(CKD)は尿の異常や腎臓の形態の異常など腎障害が3か月以上続くか、GFR値(腎臓の糸球体ろ過量)が60mL/分/1.73㎡未満が3か月以上続く場合をいいます。さらにGFRと尿蛋白量あるいは尿アルブミン量に基づいて重症度が分類されています。重症度(ステージ)に合わせてお食事療法での制限が変わっていきます。食事療法の目的は腎機能の低下を防いで末期腎不全(透析)にならないようにすることです。

では具体的にお話しします。

CKDのお食事療法は適正なエネルギー摂取とたんぱく制限、食塩制限が柱となります。摂取エネルギーは健康な人と同程度で、年齢や性別、活動量などを考慮し、体重あたり25~35kcalが1日量となります。体重70kg成人男性なら1,800kcal~2,450kcalとなりますが、他に糖尿病や脂質異常症が既往にあたり、活動量などを考慮すると1,800kcal~2,000kcal程度で当院では管理しています。次に減塩ですが、こちらは高血圧のコントロールを目的として6g/日を基準としています。減塩のポイントはまたの機会にお話しします。そして一番大変なのがたんぱく質制限です。たんぱく質が不足すると特に高齢者の場合はフレイルの心配があります。摂取エネルギーも少なくなることも考えられるので、正しく行う必要があります。実際はたんぱく質制限が医師から指示されるステージですと体重当たり0.6~0.8gが一日量の目安となります。同じく70kg成人男性なら42g~56g/日となります。比較として日本人の食事摂取基準では健常人男性18歳~64歳の推奨量は65g/日、65歳以上は60g/日、女性15~17歳の推奨量55g/日、18歳以上は50g/日です。摂取量の目安としては一般的な1人前の8割程度、主菜以外での副菜でたんぱく質が入らないようにするなど分かりやすい食事制限方法です。



少し分かりにくい点もあるかと思うので今後の独り言や塩田記念だよりで常食と腎臓病食や他の治療食との比較なども写真等でお示しできるようにしたいと思います。

いよいよ梅雨の季節です。さっぱりとしたお食事やお飲み物などで、気持ちは爽やかに過ごしてください。次回もお楽しみに。

参考:日本栄養士会HP 日本人の食事摂取基準2020 日本病態栄養学会編 病態栄養専門師のための病態栄養ガイドブック臨床栄養認定管理栄養士のためのガイドブック

栄養科 管理栄養士 戸矢 静華

公益社団法人千葉県看護協会

ふれあい看護体験 募集中

2025年 ①7月30日(水) ②7月31日(木)
③8月7日(木) ④8月8日(金)

※いずれかの日程

詳細、申し込み方法は、千葉県看護協会ホームページをご確認ください。

